

第 6 回道南いさりび鉄道沿線地域協議会 開催結果

1 会議概要

(1) 日 時

令和6年7月8日(月) 15:00~15:40

(2) 場 所

函館北洋ビル 9階会議室(函館市)

(3) 出席者

沿線市町:函館市 佐藤副市長、北斗市 工藤副市長、木古内町 羽沢副町長

道 :総合政策部 斎藤交通政策局長

オブザーバー:道南いさりび鉄道(株) 川越代表取締役社長、渡島総合振興局 西本副局長

2 主な内容

(1) 道南いさりび鉄道 第2次経営計画(骨子)について

会社から、第2次経営計画の柱立てとなる骨子案を提示

◇ 骨子案の概要

経営理念:「地域を走り 地域を結ぶ鉄道として 暮らしを支え 地域とともに歩みます」

経営目標: 1 鉄道輸送の安全性を最優先とします

2 沿線地域の生活路線としての利用実態に即した利便性確保と
更なる利用促進に努めます

3 簡素で効率的・機能的な組織体制のもと経営の安定化をめざします

4 地域全体と連携し地域とともに歩む鉄道であり続けます

課 題: ① 人口減少の予測による運輸収入の減少見込み

② 施設・設備の老朽化に伴う設備投資の増加と必要となる資金の確保

③ 企業としての自立を図るため、社員のプロパー化の推進と人材育成

④ 車両の老朽化が進んでおり、将来的な車両のあり方の検討

◇ 沿線市町の主な意見

・安全かつ安定的な運行の実施が何よりも重要であることを念頭に置いて、計画策定を進めてほしい。(函館市)

・利用促進について、PR効果に即効性のある効果的なアプローチを行うべき。(北斗市)

・バス運転手の減少による減便が報道され、いさりび鉄道の重要性は高まっており、人材確保に町として協力したい。(木古内町)

◇ 協議結果

協議会では、骨子案をもとに、収支改善の取組や人材の確保など、各課題の解決に向けた対応策について、道や沿線市町を含めた関係者とともに、具体的に検討を進めていくことについて了承

(2) その他(会社からの情報提供)

会社から、次の内容について説明

・本年9月に、食をテーマにした観光列車「いさ鉄 Bistro ながまれ号」を運行予定

・来年4月に、運賃改定及び精神障害者割引の導入を予定